

## 過越の祭り - かつて、そして現在

2012年4月8日

### エディ・サントロ

イスラエルは数千年もの間、数多く祭りをお祝いしてきましたが、イスラエル国家は再び古代の聖書の戒めに従って過越の祭りを守ることでしょう。遙か昔その驚くべき夜、主はイスラエルに対してご自身の忠実さをお見せになりました。主は天からご覧になり、彼らの苦難を見て彼らの痛みを感じられました。主は他者を使わずこともできたのですが、愛ゆえに主ご自身が降りられ彼らを救い出されました(出エジプト 3:7)。

そこにはしるしと不思議がありました。モーセはそこで、完全な人であり完全な神である人物を見ました。恐るべき疫病によって神は地上で最も強力な国家を屈服させ、そしてほんの数時間後イスラエルは旅立ち、その旅は現在まで続いています。イスラエルは430年の奴隷状態から、エジプトから出発しました。囚われ、抑圧された民が自由になりました。神はイスラエルや地上すべての民にご自身を大いなるものとして現しました。

15世紀後、別のユダヤ人がご自分の弟子たちを集めました。彼は遙か昔、天から見下ろした者と同じ人物でした。彼の心は変わっていませんでした。彼はその時でもまだご自身の民を自由にしたいと望んでいました。しかし今回は彼の大切なイスラエルだけを束縛から導き出そうとされたのではありません。その後の数時間、完全な人であり完全な神であるその人物は、過越の祭りの子羊となるのです。愛ゆえに彼は自分が愛したその街で自分自身を十字架にかけ犠牲にするのです。世界はもはや以前と同じではなくなりました。

彼の弟子たちは何が起こったのか理解できませんでした。彼は仕えること、ご自身の御父の元に帰ること、死を超えるいのちの力について語りました。彼らは共に過越の祭りを祝い、他の誰も愛したことがないほど深く愛されたこの人物が進み出て、闇と死の王国を破壊しました。彼は遙か昔モーセが始めた解放を完成させました。

主の十字架と死と復活によって、主は黄泉の力を打ち負かし、永遠に続く御国を主が選ばれた人々に与えられました。死は勝利によって飲み込まれ、主の光がこれまで以上に闇を征服しました。今年があなたがたにとってすべての束縛から解放される年となりますように、そして神の子羊であるイエシュアの復活の力があなたがたの人生に勝利をもたらしますように。

### ネタニヤフ - 安全保障について

マアリヴ誌のムサフ(訳注:ムサフは金曜日の徹底的な政治の分析と解説、書評、風刺欄)に掲載されたインタビューから引用

イランによる核兵器所有はイスラエル国家にとって大いなる危機です。今夜からは過越の祭りであり、今夜皆が夕食を囲み共に唱和します「すべての世代において敵が起こって私たちを根絶しようとする」。これは実際証明されています。これは前の世紀にホロコーストとして実際に起こりました。ナチドイツが起こりユダヤ人を滅ぼそうとしました。私たちには国も軍もありませんでした。その時危機を見ながら何もしなかった人々がいたのです。

私たちは今4つの主な脅威に直面しています。最初はこの核の脅威であり、イランに対して各国が圧力をかけることによって対処されています。二つ目はアイアン・ドームによってミサイルからの防衛を構築することです。三つ目は我がインフラに対するサイバーテロの脅威です。私たちは自身がサイバーパワーとなるよう位置づけをしています。四つ目は私たちの国境です。もし国境にフェンスが設けられず、守られなければ、イスラエルは蹂躪されてしまうからです。

## **ミカエル・コーエン - 回顧 アリ・ベン**

私たちの親愛なる友であり兄弟であるミカエル・コーエンが今週、エルサレム旧市街にあるヤッファ門で倒れた後亡くなりました。

ミカエルの葬儀には、彼の人生に触れられた大勢の人々が出席しました。その出席者自体が、彼が会った全員に対する真実な愛の証でした。その場の雰囲気は触れることができるほどミカエルに対する尊敬と敬意に満ちていました。

ミカエルは叙任された聖公会の司祭であり、数年前彼の信仰と彼の一族のユダヤルーツを知りました。彼は後にイスラエルにアリヤー(訳注:帰還)し、ユダヤルーツの本を書きました。

謙虚な僕であったミカエルは英国と米国全土を旅し、イスラエルについての神の御言葉を教えました。しかし彼はその大半の時間をイスラエルで過ごし、スカット・ハレルで教え、アハヴァット・イェシユアを訪問し、マコル・ハティクヴァとリバイブ・イスラエルの理事を務めました。彼はまたメシアンックジュー共同体の多くの若い人々にとって人生の指導者であり霊的な父でした。彼の死は本当に惜しまれます。

## **三つの聖霊の注ぎ アシェル・イントレーター**

終わりの時に、大いなる聖霊の注ぎがあります。私たちはこれらの聖霊の注ぎを三つの簡単な区分に分けることができます。

### 1. 教会のリバイバル

ペンテコステの朝に起こった例は再び繰り返されますが、その時は世界的な規模で起こるのです。

#### 使徒 2:17 (ヨエル 2:28)

神は言われる。終わりの日に、わたしの霊をすべての人に注ぐ。すると、あなたがたの息子や娘は預言し、青年は幻を見、老人は夢を見る。

### 2. 諸国への裁き

聖霊がすべての国々のすべての人々に注がれる時、そのリバイバルをもたらした同じ霊は裁きをもたらします。

#### ゼパニア 3:8

それゆえ、わたしを待て。——主の御告げ。——わたしが証人として立つ日を待て。わたしは諸国の民を集め、もろもろの王国をかき集めてさばき、わたしの憤りと燃える怒りをことごとく彼らに注ぐ。まことに、全地はわたしのねたみの火によって、焼き尽くされる。

### 3. イスラエルの悔い改め

教会が完成し、そして諸国が裁かれた時、同じ聖霊の注ぎはイエシュアや救いに関してイスラエルに啓示と悔い改めをもたらします。

#### ゼカリヤ 12:10

わたしは、ダビデの家とエルサレムの住民の上に、恵みと哀願の霊を注ぐ。彼らは、自分たちが突き刺した者、わたしを仰ぎ見、ひとり子を失って嘆くように、その者のために嘆き、初子を失って激しく泣くように、その者のために激しく泣く。

これらの三つの聖霊の注ぎは互いにつながっており、私たちの祈り、信仰、そして準備が整っていることにもつながっています。